

〒104-0031 東京都中央区京橋 2-7-14 (ビュレックス京橋)

電話 03 (3528) 6525 FAX 03 (3528) 6526

E-mail: ibl@ibltokyo.jp <http://www.ibltokyo.jp>

★ 月例会のご案内 ★



法律実務家のためのインプット・アウトプット術

「出版記念」&ランチ月例会です！

師走の候 会員の皆様にはご清祥のことと存じ上げます。

さて、弁護士・法務担当者は、入所／就職して仕事を始めた後も、法改正、判例変更等の新たな知識を学習し続けなければなりません。このような「リスクリング」のためのインプット・アウトプットの効率化する方法を伝授するのが本書。企業法務弁護士で、リーガルテックやキャリア教育にも詳しい著者のノウハウやマインドセット、ライフハックを惜しげもなく公開します。時間の捻出やアンテナの張り方、組織内コミュニケーションといった日常のルーティンから、生成 AI はもちろん各種リーガルテックなどテクノロジーを駆使したリサーチや成果物作成まで、必見の情報が満載です。生成 AI の登場で法律実務家にとっても大きな転換点が到来している中、将来のキャリアを見据えたリスクリング方法論がこの一冊に！

今回、松尾先生のご厚意により、本出版を記念して、ご著書のポイントをご解説いただきます。また、弊所会場にご参加をお申し込みされた方先着 10 名様に先生のご著書を差し上げます。

日頃の法務業務の改善につながるヒントがあるこの機会に、ぜひご参加いただきますようお願い申し上げます。

記

日 時 2026年1月19日（月）午前11時30分～1時30分
内 容 「法律実務家のためのインプット・アウトプット術」について
講 師 桃尾・松尾・難波法律事務所
弁護士 松尾剛行先生
会 場 ハイブリッド方式（国際商事法研究所会議室） または WEB
※会議室への参加の定員は、10名です。なお、先着順ですので、定員に達し次第、お申込の受付を終了致します。（キャンセル待ちの受付はいたしません。）
※ランチ手配および無料でご著書を配る関係で、会議室参加の場合ですが、前日までにキャンセルの連絡をお願いします。キャンセル待ちで申込の方に繰り上げいたします。

弊所会議室は感染対策（室内空気清浄機導入済）を施しております。

定 員 10名（弊所会議室）、100名（Web）
参加費 会員無料

申込要領

【WEB参加をご希望の方】

- ・本メールに記載の事前登録のためのURLから、またはHPより「事前登録」をして下さい。事前登録が完了しますと確認メールが自動送信されます。 ※このメールに視聴ページのリンクがございます。
- ・資料は、開催日前日までにメールにて、ご案内いたします。
- ・当日は、接続開始時刻（11:45）以降に各自の端末から視聴ページのリンクよりアクセスしてください。
- ・ブラウザでも視聴可能ですが、安定性確保のため、事前にアプリダウンロードを推奨します。Zoom 公式ページ「ダウンロードセンター」にてPC、スマートフォン、タブレット等でダウンロードができます。

【会議室参加をご希望の方】

- ・メールの返信にてお申込をしてください。
- ・開催当日は、開催時間までに直接、会議室へお越しください。

※お申込に係る個人情報は、当月例会の受付事務に利用し、他には利用しません。

(ご講演内容)

Part 1 総論

- 第1章 これまで学んだことが実務で通用しない!? ——なぜリスキリングをするのか
- 第2章 インプット・アウトプット一体化による効率化——アウトライナーのすすめ
- 第3章 実務に活かせるリスキリングのために——目標設定／一本道で目標に向かうこと／時間の捻出
- 第4章 AI利用が「当たり前」となる時代の「スキル」とは
- 第5章 「旗」を立てることでスキルを高められる仕事を呼び込み、キャリアにつなげる

Part 2 インプット

- 第1章 インプット総論
- 第2章 リーガルテックをフル活用したインプット
- 第3章 OJTによるインプット
- 第4章 インターネットを利用したインプット
- 第5章 書籍を利用したインプット
- 第6章 雑誌を利用したインプット
- 第7章 セミナー等によるインプット
- 第8章 裁判例からのインプット
- 第9章 アカデミアからのインプット

Part 3 アウトプット

- 第1章 アウトプット総論
- 第2章 AI・リーガルテックを総動員した効率的アウトプット作成術
- 第3章 日常業務に伴うアウトプット
- 第4章 「教える」こともアウトプット
- 第5章 セミナー、研修・実務研究会等
- 第6章 エッセイ・実務論文・書籍・インターネット等
- 第7章 アカデミア